

社会科学学習指導案

日時 平成21年10月16日(金)
第5校時(13:25~14:10)
児童 黒川小学校 3年1組 27名
授業者 教諭 川本 真央

実践テーマ:「体験的な活動を通して、より理解を深める社会科の学習」

1. 単元名 見直そうわたしたちの暮らし～スーパーマーケットの仕事～

2. 単元について

本単元では、子どもたちが「消費者としての自分」を意識しながら学習できるように、次のような活動による展開を図っている。

① 自分たちの生活経験から問題意識を引き出す。

普段何気なく家庭の買い物に加わっていたり、自分にとって必要なものを中心に買ったりしている子どもたちが「どこで」「何を」買っているのか、また「同じ物を買っているのに、買う店が友だちの家と異なる理由は何か」ということを、自分たちの生活経験にもとづいて意識化し、問題としてとらえることができるようにする。

② 自分たちの家庭の買い物について調べる。

各家庭では、どの店で、どんな物を買っているのかを調べて、グラフや地図にまとめることで、自分の家庭の買い物の様子を客観的にとらえられるようにする。

③ よく行く店の販売の工夫や努力を調べる。

クラスの子どもたちがよく買い物に行く店の代表として「シガスーパー」を見学して調べ、その工夫や努力をとらえる。そしてその工夫や努力が、消費者のニーズの一定の反映である点に気づくことができるようにする。

④ 消費者の立場から買い物の工夫を考える。

販売の立場からの工夫が、消費者のニーズの一定の反映であるという認識に立ち、賢い消費者として、どのような消費行動をとっていくのかを話し合いを通して考える。このとき、「食の安全」や「環境」といった問題も、間接的には消費者自身の問題であることに気づくことができるようにし、これらの問題をも視野に入れた買い物の仕方考えることができるようにする。

⑤ 学習したことを実践的立場から補足する。

ここに至るまでに子どもたちが学習してきたのは「どのような物を選んで買うべきか」ということであるが、これは消費生活をめぐる問題の一部であり、仮想的なものに過ぎない。そこで、「カレーパーティーを開こう」という目標のもとに、子どもたちが実際に買い物をする活動を通して学習をまとめるとともに、実践的な立場からの補足を行う。

以上のように、本単元は、子どもたちが消費者の視点で調べ、行動しながら、販売の工夫や買い物の工夫についてとらえ、消費者として買い物の実践までを行う一貫した流れとなる。

3. 児童の実態

あたらしい教科・社会科の学びはじめの3ヶ月間、子どもたちは意欲的に課題解決に取り組んできた。社会科の授業に限らず、問題解決学習に取り組むなかで、とくに具体的な事象からみずから課題を見つける〈課題設定〉の能力に高まりが見られるようになってきた。

本単元は、スーパーマーケットを実際に見学し、そこでのさまざまな発見を、調べ活動を通して解決していくことが本単元の主な活動である。スーパーマーケットは、子どもたち自身が、自分たちの眼で発見できる秘密の宝箱のような場所といえる。働く人・販売法・商品・表示・配置・安全性・リサイクル・防犯・カートなど、見学を通してさまざまな発見があるだろう。見学の際には、〈子どもたちの学びを最終的にどこに着地させるか〉という〈単元の学びのねらい〉を見失わないようにして、見学計画を立てさせたい。実際の見学場面では、子どもたちの課題意識が大きく広がることも考えられるが、この場面では、子どもたちが発見したことは大切にしながらも、計画の際に確認した課題意識からそれないように、教師側の支援が必要になると考える。スーパーマーケットで働く人々は、〈消費者のニーズ〉に応えるためにさまざまな工夫をしているのだという視点を与えることで、見学のねらいを明確にしていきたい。①数多くの具体的な事象を発見し、②数多くの材料のなかから共通の窓口としての課題を設定し、③それを解決するという一連の学びの楽しさを、子どもたちが実感できるよう心がけたい。

4. 研究の視点とのかかわり

〈視点1〉「基礎的・基本的な知識や技能を習得および活用する学習活動」と「これまでに培われてきた力を発揮して問題解決に取り組む探求的な学習活動」を効果的に盛り込んだ単元構成の工夫改善

本単元では、日常生活とのかかわりが深い「スーパーマーケットの仕事」をテーマとし、資料の活用や見学を通して、校区内のスーパーマーケットで働く人々のさまざまな工夫について知識を習得させる。そのうち、商品に貼られているPOPについて、消費者にとってどのようなが望ましいかを思考し、自分たちなりの理想のPOPを作る活動を行ったり、学んだことを活かして実際に目的に応じた買い物をする活動を行うことで、習得した知識を実際に活用する力を培いたいと考える。

〈視点2〉問題解決的な学習を基盤とし、「課題意識（問題意識）」を持ちながら、解決に向けた「自分なりの考え」をもとに、「仲間と共に学ぶ場」を意図的に設定した学習過程とその指導のあり方の工夫改善

本単元では「スーパーマーケットの仕事」という身近にあるものをテーマに課題解決学習を行う。子どもたちにとって関心の高いテーマといえるが、そこで働く人たちが具体的にどのような仕事を行い、どのような工夫をしているかについては、よく知らないということも予想される。身近でありながらも知らなかったという思考のズレを生かして、問題意識を高めていきたい。また、写真やPOPの実物などの資料を効果的に提示することで、「消費者のための工夫」という視点に目を向けていけるような学習を展開していきたい。さらに、「自分ならこんなPOPにする」「買い物の際にはこんなところに気をつける」といった、自分なりに考える場やお互いの考えを交流する場を設定することで、よりよい解決を実感できるようにしたいと考える。

〈視点3〉単元を通じた意図的・計画的な評価を次の指導に生かしていくための工夫改善

単元を通してワークシートを活用することで、課題が明確化され、解決の見通しを持つことができると考えた。また、指導計画や本時案のなかに評価の観点を場面を明確にすることで、本字の全体交流に活かしたり、次の指導に活かすことができると考えた。

5. 単元の目標

- ・ 地域の商店での買い物の様子を調べて、地域の人々は品質や価格、環境などのことを考えて購入したり、販売の工夫をしたりしていることを理解し、自分もまた考えた消費活動ができるようにするとともに、自分たちの地域は消費生活を通して広く国内の他地域や外国とも関わっていることに気づく。
- ・ 買い物調べや商店の見学などで積極的に取材活動に取り組んだり、調べたことを表やグラフ、地図などに効果的に表現したりしながら、買い物の仕方や売り手の工夫などを考える。

〈本単元の評価規準〉

	社会的な事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	社会的な事象についての知識・理解
評価	シガスーパーの販売の様子に関心をもち、意欲的に調べることを通して、自分たちも工夫して消費生活を営んでいこうとする。	シガスーパーの販売の様子から学習の問題を見つけ、販売の仕事に携わっている人々の工夫や努力について追究・解決し、その意味と生産と販売とのつながりや上手な消費生活の仕方について、適切に判断する。	家庭の買い物の様子を調べて、表やグラフにまとめ、その傾向を読み取ることができるようにする。また、シガスーパーの販売の様子を見学したり、インタビューしたりして調べ、その過程や結果を工夫して表現する。	シガスーパーで販売の仕事に携わっている人々はさまざまな工夫をしているとともに、販売の仕事は他の地域と結びついており、こうした工夫や結びつきが自分たちの消費生活を支えていることがわかる。

〈本単元の評価計画〉

時	社会的な事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用・技能・表現	社会的な事象についての知識・理解
1	自分自身や自分たちの家庭の買い物の仕方について発表しようとしている。〔発言〕			
2 3		よく買い物に行く店にはどのような特徴があるかを考える〔発言〕	家庭の買い物の様子について調べた結果を、買い物地図に表すことができるようにする。〔ワークシート〕	
4	ワークシートでグラフを作成している。〔ワークシート〕		クラスの買い物の様子をグラフに表すことができる〔ワークシート〕	スーパーマーケットについて理解している〔発言〕
5 6		交通の様子や駐車場の広さなどから買い物に行きやすい店について考える〔発言〕	家庭の買い物の様子について調べた結果を、表やグラフに表すことができるようにする。〔ワークシート〕	
7		家庭の買い物の様子について調べた結果から、みんながよく買い物に行く店の良さについて、調べた事実をもとにして考えることができる。〔発言・ノート〕		
8 9			スーパーマーケットを調べるための見学計画を立てることができる。〔発言・ワークシート〕	
10 ~ 12	スーパーマーケットを見学し、進んで店の様子を見学したり、インタビューしたりして、見学メモにまとめようとしている。〔行動・ワークシート〕		見学してわかったことや疑問に思ったことをワークシートに記入することができる〔ワークシート〕	
13		見学時に発見したお店の工夫について、どのような目的があるか考えることができる〔発言〕		スーパーマーケットの工夫や努力について理解することができる。〔発言・ノート〕
14		よりよいPOPのあり方について考えている。〔発言〕 高い1個売りの商品を販売しているのはなぜか考えている。〔発言・ノート〕		POPにはどのようなことが書いてあればよいか理解することができる〔発言・ノート〕
15		スーパーマーケットに買い物客が集まるわけを、自分の経験をもとに考えることができる。〔発言・ノート〕		
16 17	実際に買い物をする計画を立てるに際して、これまでに学んできたことをふり返ってみようとしている。〔ワークシート〕		上手な買い物をするために留意すべき点について理解している。〔発言〕	



6. 学習計画【全17時間】※本時14/17

時	学 習 内 容	○ 教師のかかわりと 【評価規準】
1	<p>1. わたしの家の買い物</p> <p>〔 T : 余市にはどんなお店があるかな。知っているお店の名前を挙げてみよう。 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスフル・生協・シガ・柿崎・ホームック・サッポロドラッグストア・セブンイレブン・セイコーマート・ローソク <p>かだい</p> <p>家の人はどこで、どんな買い物をしているのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あそこに行っていると思うよ。だってね…。 ・あの店も行っているな。どうしてかというとな…。 ・食べ物を多く買っていると思うよ。なぜかはね…。 <p>2. 表やグラフにまとめてみよう</p>	<p>○ 自分自身や自分たちの家庭が、ふだんどこで買い物をしているのかを発表しあうことを通して、自分たちの家庭の買い物の仕方について調べようとする意欲を持つことができるようにする。</p> <p>【関・意・態】自分自身や自分たちの家庭の買い物の仕方について発表しようとしている。〔発言〕</p>
2～3	<p>〔 T : みんなのお家での買い物の様子がパッと目で見わかるように整理しよう。 〕</p> <p>かだい</p> <p>どこでどんな買い物をしているか調べて「買い物地図」にまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱりあそこに行っているな。 ・車で行くときは、あのお店に行くんだ。 ・うちは○○君と同じ店に行っているけど、△△君や□□さんは違う店で買っているね。 ・食べ物を買っている人が多いね。 ・シガさんで買っている人が多いね。 ・ポスフルも多いよ。 ・生協も多いね。 ・家の近くのお店でも買い物をしているね。 ・もっと見やすくできないかな。 ・表やグラフにすればいい。 <p>かだい</p> <p>「買い物地図」をもとにして、表やグラフを作ろう！</p>	 <p>【技・表】家庭の買い物の様子について調べた結果を、買い物地図に表すことができるようにする。〔ワークシート〕</p> <p>前単元の「まちたんけん」で学習した地図と、この時間に作成した買い物地図を比較することで、交通の様子や駐車場の広さなどをとらえさせる。</p>
4	<p>〔 T : どんなグラフにしたらいいか考えてみよう。 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままグラフにするにはお店の数が多すぎるよ。 ・見づらそうだね。 ・にているものどうしでまとめよう。 <p>〔 T : お店をグループにまとめてみよう。 〕</p> <p>【よく行くお店】</p> <p>〔 ポスフル シガスーパー 生協 〕 ⇒ スーパーマーケット</p>	<p>【思考】よく買い物に行く店にはどのような特徴があるかを考える〔発言〕</p> <p>○ 家庭の買い物の様子について調べて、その結果を表やグラフに表し、買い物の仕方の傾向やそれぞれの店の良さについて考えることができるようにする。</p> <p>よく行くお店とたまに行くお店では、それぞれどのようなものを買うことが多いかを考えさせることで、それぞれのお店の特徴をとらえさせる。</p>

【時々行くお店】

柿崎
ホームマック
高見商店
馬場商店

⇒ 近くの小さなお店

セブンイレブン
セイコーマート
ローソン

⇒ コンビニエンスストア

T：実際に、表やグラフを作ってみよう。

- ・人数の違いがわかりやすくなった。
- ・どうしてシガさんやポストフルが多いのかな。
- ・きっとシガさんやポストフルは〇〇が良いからだよ。

T：みんなの家の人が行く店の、良いところを紹介しあおう。

【時々行くお店の良さ】

- ・コンビニ ～ いつも開いていて便利だね。
- ・柿崎 ～ お店の人と話しをしながら買い物ができるね。商品も新鮮だよ。
- ・ホームマック～ 広いね。家で使うものをたくさん売っているね。

【よく行くお店の良さ】

	ポストフル	シガ	生協
駐車場	広い	広くない	広い
店の広さ	とても広い	中くらい	広い
安さ	安い	安い	安い
ちらし	まく	まかない	まく

T：みんなが生まれた年から、今までに、

- ① お店の数も
 - ② 物が売れた金額も
 - ③ もうかった金額も
- 倍以上に

しかも、

- ④ 全部の店が黒字
 - ⑤ 店員一人だいたい年間1億円売る！
- こんな余市にあるスーパーはどこ？

- ・生協かな？・ポストフルかな？シガスーパーかな？
- ・シガさんなんだ。
- ・きっとまだ良いところがいっぱいあるよ。
- ・シガさんに見学に行こう。

3 みんなが買い物に行く店
かだい

シガさんに見学に行く計画を立てよう！

【知・理】スーパーマーケットについて理解している〔発言〕

【技・表】家庭の買い物の様子について調べた結果を、表やグラフに表すことができるようにする。

〔ワークシート〕

【関・意・態】ワークシートでグラフを作成している。〔ワークシート〕

【思考】家庭の買い物の様子について調べた結果から、みんながよく買い物に行く店の良さについて、調べた事実をもとにして考えることができる。

〔発言・ノート〕

見学に行くスーパーでは売り上げが向上していることを知り、どのような工夫をしているかについて興味・関心を高める。

- スーパーマーケットを見学し、お客を多く集めるために買い手のことを考えたり売り方の工夫や努力を行っていること、商品を通して自分たちの地域と他地域とがつながっていることについて気づくことが

できるようにする。

8～9
(計画)

- ・見学の約束は、まちたんけんのときを思い出すといいね。
- ・自分たちの調べることは？
- ・調べ方は？ ・役割分担は？

T：見学で、シガスーパーの買いやすさの秘密を探ろうね。自分が買い物をするとして、この工夫があるおかげで「スムーズに」「安心して」買い物ができるよ、というところを見つけよう。

4. スーパーマーケットをたずねて

かだい

買いやすくするための秘密を探ろう！

10～12
(見学)

【店内の見学から】

- ・大きな文字で値段を書いている。
- ・品物を見やすく並べている。
- ・小さな看板に値段と産地が書いてある。
- ・値段を安く貼りかえている。
- ・パンのそばにバターを置くとか、買いやすく並べている。
- ・「関連商品」の看板を貼っている。

【店長さんへのインタビューから】

- ・安全な品物を仕入れるようにしている。
- ・店内放送でも、安売りのものをお知らせしている。
- ・他店のチラシを見て、その店より安くする。
- ・チラシがない分、お店に色々な看板やポスターを展示している。
- ・リサイクル回収箱などを用意して環境に気を配っている。

まとめ

買いやすくするためのいろいろな秘密がわかった！

13
(まとめ)

T：いろんな秘密があるけれど、品物を買うときに、その品物以外に必ず見るものってなんだろう？

- ・値段を書いた紙
- ・パックに貼ってある表示
- ・商品を紹介する紙

POP

・品物のそばについてあるPOPは、そのときによってかわっていたよ。

T：次回はPOPの秘密を探ろうね！

5. お店の工夫や努力

かだい

シガスーパーの店長さんになったつもりで、よいPOPをつくってみよう

14
(本時)

【技・表】スーパーマーケットを調べるための見学計画を立てることができる。[発言・ワークシート]

【関・意・態】スーパーマーケットを見学し、進んで店の様子を見学したり、インタビューしたりして、見学メモにまとめようとしている。[行動・ワークシート]

【技・表】見学してわかったことや疑問に思ったことをワークシートに記入することができる [ワークシート]

【知識】スーパーマーケットの工夫や努力について理解することができる。[発言・ノート]

見学時の写真を提示することで、POPの存在に注目させ、買い物をする際にPOPが大きな役割を果たしていることについて関心を高める。

【思考】見学時に発見したお店の工夫について、どのような目的があるか考えることができる [発言]

見やすく大きく

・種類や個数を書こう！ ・安さをアピールして…

【産地】と 【値段】が

- ・余市産や北海道産が多い ・タイムセールで安くなるよ
- ・外国からも仕入れるんだね ・チラシにかかるお金を値引きにまわしていたんだね。

T：高い1個売りのジャガイモを売っているのはどうしてなんだろうね。

・お客さんによっては1個だけしかいない人もいるよね。
まとめ

シガスーパーの店長さんはいろんなお客さんのために売り方を考えているんだね

かだい

シガスーパー以外のスーパーマーケットではどんな工夫があるかな？

15

6.

- ・ポスフルは駐車場が広くて便利だよ。
- ・小さい子が乗れるカートを置いているよ。
- ・チラシのおかげで、お店に行く前に何をかうか決められるよ。
- ・お店が広いからたくさんの種類から選べるよ。
- ・生協はポイントがつくから良いね。

まとめ

だからスーパーマーケットにはたくさんのお客さんが集まるんだね。

7. 上手な買い物をするために

かだい

カレーパーティーを開こう！

16~17

T：どんなことに気をつけて買い物をすればよいか、お肉のパックから調べてみよう・

- ・買う前には…
- ・買うときには…
- ・食べたあとは…

まとめ

値段だけでなく、種類、新鮮さや安全、リサイクルなどを考えて買う必要があるね。

グループごとに買い物に行って、カレーパーティーを開こう。パーティーの最後に、買い物をした感想を話し合おう（総合的な学習）

【思考】よりよいPOPのあり方について考えている。

【知・理】POPにはどのようなことが書いてあればよいか理解することができる〔発言・ノート〕

【思考・判断】高い1個売りの商品を販売しているのはなぜか考えている。

見学したスーパー以外のお店でもそれぞれに工夫があることに意識を向け、学習したことの一般化を図る。

【思考】スーパーマーケットに買い物客が集まるわけを、自分の経験をもとに考えることができる。〔発言・ノート〕

これまで学んだことを活かして、目的に応じた買い物をすることを知り、買い物の計画を立てさせる。

【知・理】買い物をする際に、これまで学んできたことを振り返ってみようとしている。

【関・意・態】実際に買い物をする計画を立てるに際して、これまでに学んできたことを振り返ってみようとしている。

7. 本時の主張

本単元の学習を通して、子どもたちはさまざまな販売の工夫について発見してきた。その工夫のなかには、食品の新鮮さや安全性への配慮があった。これは消費者の関心が、商品の価格だけではなく、新鮮さや安全性といった領域に広がっていることを意味している。

本時では、「学級でつくったジャガイモをシガスーパーで売るとしたらどんなPOPをつくる？ 店長さんになった気持ちで考えて」という投げかけから授業をスタートする。その際に、教師側からPOP①を提示する。POP①は、消費者にとって必要な情報がえられない、販売者である「店長」からすれば、商品の売り上げに貢献しそえないPOPである。子どもたちは「自分が店長だったら？」という販売者の視点から、ダメPOPを改善するためのいろいろなアイデアを出すだろう。販売者の視点からダメ看板改善のアイデアを出しているうちに、それが自分たちの知りたいと思う情報であること、つまり消費者の立場からのニーズであることに気づく。子どもたちの生活経験からは、おそらく「安さ」といった「値段」に偏った視点しか見つからないかもしれない。そこで、実際にシガスーパーではられているPOP②を提示することで、POPからどんなことがわかるか、どんなことを消費者に伝えてくれるPOPなのかを見取り、そこから消費者のニーズは決して「値段」に限ったものではないことに気づかせたい。

また、シガスーパーで販売している3個入りのジャガイモのPOPと1個売りのジャガイモのPOPを2つ提示する。1個売りのジャガイモは割高になる。しかも、お店の売り上げは、1個売りのもののほうが低い。なぜ、高くても売り上げも低い1個売りのジャガイモをシガスーパーでは販売しているのか、その理由を考えるなかから、シガスーパーが、たとえ売り上げが低くても、お客さんのニーズに合わせて、商品を用意していることをとらえさせる。

本時は、シガスーパーの「POP」を通して、消費者のニーズが多様であることと、その多様なニーズにこたえようとしているスーパーで働く人たちの工夫をとらえさせる授業である。

8. 本時の目標

目標 スーパーマーケットの売り場にあるPOPを通して、スーパーマーケットで働く人は、消費者のことを考えた売り方の工夫をしていることを、とらえることができるようにする。

9. 本時の展開

子どもの活動・学習内容	◆指導 と ★評価
<p>T：これはみんなが育てたジャガイモだね。今日収穫してきたんだ。ふくろに5こ入ってるんだ。もしも、これをシガスーパーで売ってもらったら、どんなPOPがいいか、先生が考えてPOPをつくってきました。</p> <p>ぼくたちのジャガイモ売ります 200円</p> <ul style="list-style-type: none"> 安く感じない。シガさんではどのくらいで売っているの？ 198円だって。 値段が見つらいね。 シガさんのPOPでは産地が書いてあったぞ。 見やすい色にしたほうがいいな。 <p>かだい シガスーパーの店長さんになったつもりで、ジャガイモのPOPをつくろう。</p> <p>T：みんなの工夫を発表し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> とにかく、まずは…見やすく大きく！ ジャガイモと書かないとダメだね。 値段はしっかり書いたほうがいいよ。 個数も書いたほうがいいね。 「SALE」と書いて安さをアピールしよう。 新鮮だということを書いたほうがいいね。 どこでとれたかも書いたほうがいいのかも…。 <p>T：みんなが作ってくれたPOPのよさを交流し合おう！</p> <p>ジャガイモ 5個入り 198円 新ジャガ 余市産 5個入り 198円 カレーにぴったり！</p>	<p>◆ 学級教材園で栽培したジャガイモをふくろに5こ入れて提示する。</p> <p>◆シガスーパーを見学した際のポップのことを想起させる。</p> <p>◆ 担任が提示したPOP①をどのように工夫したらよいか工夫のポイントをノートに書かせる。</p> <div data-bbox="1066 1563 1366 1944" style="text-align: center;"> </div> <p>◆POP②を提示する。</p>

【共通点】 どちらにも値段と商品名が書いてある
 【違い】 産地、新鮮さ、お勧めの食べ方が書いてある
 ・ 産地や新鮮さがわかると、お客さんが安心だね。

T: **実は**、シガさんからもう2種類ポップをもらってきたんだ。

ジャガイモ 3個入り
 128円
 (1個当たり42円)

ジャガイモ 1個
 48円

こっこのほうが高いぞ!

T: 高いイモを売っているのはどうしてだろうね。 **実は**、1個売りは3個売りよりもうれならしいんだ。
 ・ お客さんによっては1玉でいい人もいるからだね。

まとめ
 シガスーパーの店長さんは、いろんなお客さんのために売り方を考えている。

T: こういう工夫をしているのはシガさんだけかな。

★【思考・判断】 よりよいPOPのあり方について考えている

★【思考・判断】 高い1個売りの商品を販売しているのはなぜかを考えている。[発言・ノート]

★【知識・理解】 POPにはどのようなことが書いてあればよいか理解することができる[発言・ノート]

◆ シガスーパーでは、お客さんの要望にあわせて、1個売りや3個売りなど、個数の種類を用意していることをとらえさせる。

◆ 他のスーパーでもお客さんのための工夫をしていることを想起させて一般化を図る。

板書計画

かだい
 シガスーパーの店長さんになったつもりで、ジャガイモのPOPをつくろう

POP②

子どもたちが作ったPOP

産地 新鮮さ 食べ方

ぼくたちの
 じゃがいも
 売ります
 200円

どことなくふうを
 すると
 もっとよい
 POPになるかな?

ジャガイモ 3個入り
 128円
 (1個当たり42円)

ジャガイモ 1個
 48円

1個あたりのねだんは高くても、
 むだになるよりはいい

- ・ 198円としたほうが安く感じる
- ・ 値段を大きくする
- ・ ぼくたち → 産地や学校名
- ・ 色を変える
- ・ 個数が分かるようにする
- ・ 安さをもっとアピールする

まとめ
 シガスーパーの店長さんは、いろんなお客さんのために売り方を考えている。